

講演会

障害のある子の

親亡き後

～親の役割を誰に引き継ぐか～

障害のある子を持つ親が抱える「親亡き後」の不安は、お金の問題だけでは解決できません。本講演では、親が日常生活の支援や福祉サービスの調整、本人の意思の代弁など、実際には多くの役割を担っていることを整理します。そのうえで、それらの役割を誰に、どのように引き継いでいくのかを、障害福祉サービスや成年後見制度の仕組みを踏まえて解説し、親亡き後に備えるための具体的な視点を提示します。



講師：前園 進也 氏

埼玉県さいたま市出身。弁護士。

重度知的障害のある子の父親として、「重度知的障害者でも人並みに暮らせる社会」の実現のために活動。

著書に「障害者の親亡き後プランパーフェクトガイド」（ポット出版プラス、2024年）、「事業所必携 障害福祉サービス利用者の意思決定支援ハンドブック」（日本法令、2026年）がある。

2026

9月15日(火)

10:30～12:00

(受付開始 10:00)

草加市中央公民館 ホール

草加市住吉2-9-1 (草加駅東口徒歩10分)

※ 公共交通機関等のご利用をお願い致します

入場無料 定員400名

【主催】 草加光陽育成会

(草加市手をつなぐ親の会)

草加市青柳 8-2-33 グループホーム「光輪の家」内

FAX: 048-954-4736



ホームページ

【お問い合わせ】 ホームページの問い合わせフォームからお願いいたします

【後援】 草加市 / 草加市教育委員会 / 社会福祉法人 草加市社会福祉協議会

一般社団法人 埼玉県知的障害児者生活サポート協会 / 社会福祉法人 光陽会